

## 国分寺台小学校区福祉ネットワーク

## ふれんどネットワーク活動報告

## — 25年度報告と26年度計画—

## 1. 平成25年度活動報告

## (1) 視察研修 (7/19)

「若宮小学校区まんまるネット」を訪問し、高齢者見守り支援活動及びまんまるサロンについて説明を受け、その後辰巳台地区社協を訪問して、「たすけあい辰巳ねこの手」について説明をして頂いた。いずれも大変丁寧な説明で今後の活動の参考になった。 参加者14名

## (2) おり紙ヒコーキ作り (7/21)

一昨年、昨年に引き続き、ラジオ体操に集まった子供たちに呼びかけて国分寺台小体育館で3回目の大会を開催した。

参加児童数が増え、飛ばし競争で盛り上がった。

講師：松崎幸弥氏 (全日本おり紙ヒコーキ協会会員)

参加者：約60名 内小学生30～40名 (昨年は32名)

## (3) 広報紙「ふれんど」発行 (9/1)

第6号(9/1)を発行し、茶話会参加者へ配布。又、関係11町会に回覧をお願いした。第6号にふれんどネットのこれまでの歩みを掲載した。

## (4) 地区敬老会 (9/21)

国分寺台小学校区敬老会実行委員会のメンバーとして6名が参加し、来賓受付等を担当した。

## (5) ふれんど倶楽部 (茶話会)

毎月第1金曜日に国分寺公民館会議室で茶話会を開催している。

4/5はバスハイクを計画し、佐久間ダム、大山千枝田及び道の駅3か所を廻り好評であった。

茶話会参加者が頭打ち傾向、対応が必要。

## 茶話会の参加者数

(茶話会登録者30名)

月日	4/5	6/7	7/5	8/2	9/6	10/4	11/1	12/6	2/7	3/7	計
参加者	27	25	27	23	28	24	23	24	23	18	242
スタッフ	4	6	6	6	6	5	6	4	3	4	50

## (6) 昔あそびの会 (12/4)

国分寺台小学校の授業の一環として、シルバー友の会の協力を得て毎年実施しており、今回で4回目であった。 学校・参加高齢者双方から評価されており学校行事として定着している。

今回初めてPTAから3名の方がスタッフとして参加された。

参加者： 1年生児童3学級84名、高齢者29名、シルバー友の会14名、スタッフ23名

## (7) 地域福祉餅つき大会 (12/23)

国分寺台小体育館で歳末助け合いの餅つき大会を開催した。

小学校での開催は初めてであったが、小学校、民生委員、青少年相談員、町会等多くの方の協力を得て盛況であった。

参加者 約300名、スタッフ33名

## 2. 推進委員会打合せ概要

開催日	内容
H24年 4/19	①24年度決算・25年度活動計画及び予算承認、
5/17	①視察研修日程及び行先決定 ②各部会開催
6/21	①各部会開催
7/19	①視察研修（市のバスで若宮小まんまるネット、辰巳ねこの手を訪問）
9/20	①「ふれんど第6号」発行報告 ②視察研修結果報告
10/18	①昔遊びの会について ②協力会員制について
11/15	①餅つき大会について ②昔遊び参加者追加募集について
12/20	①規約改正案採決 ②昔遊びの会結果報告
H25年 1/17	懇親会
2/14	①各部会（本年度のまとめと次年度活動計画について）
3/14	①次年度活動計画について

## 3. 平成26年度活動計画

### （1）推進委員会

- 1) 各部会活動の調整、推進
- 2) 台小地区敬老会
- 3) 地域福祉餅つき大会（実施するかどうかは秋に決める）

### （2）高齢者部会

- 1) 本年度は、主要なテーマとして「市原市安心生活見守り支援事業」に取り組む
  - ①取組に関して町会、民生委員と協力
  - ②見守り支援事業の広報及び支援希望者の募集
  - ③安心訪問員の募集と研修
  - ④見守り活動体制の構築
  - ⑤見守り活動のスタート

### 2) 茶話会グループ

高齢者部会内に茶話会運営の責任を負う茶話会グループを設置し、次の課題に取り組む

- ①茶話会（ふれんど倶楽部）を毎月開催し、その充実・拡大を目指す。
- ②茶話会の場所を増やす ⇒町会、老人会等で実施している茶話会との連携

### （4）青少年部会

国分寺台小児童を対象にして次の事業に取り組むとともに KCN、PTA との協力関係を深める。

- 1) 児童との交流会
  - ①折り紙ヒコーキ（7月）
  - ②星空観察会 等（7月）
- 2) 昔遊びの会（12月）

### （5）広報部会

広報紙「ふれんど」の印刷を社協から業者に変更して、より読み易くより魅力的な紙面を目指す。

(6) その他

- ①国分寺台小学校区町会との連携
- ②西小及び東小福祉ネットとの連携

4. 平成26年度運営方針

(1) 推進委員

「高齢者」、「青少年」、「広報」のいずれかの部会に所属し、推進委員会及び部会活動に参加する。  
所属部会は本人の希望によるが、状況により調整することもある。  
又、ダブルの所属も可。

(2) 役員会

- ・代表、副代表、事務局長、会計、各部部长が出席し原則として毎月開催する
- ・推進委員会及び各部会活動の基本方針の検討
- ・他団体及び各部会間の調整・対応、

(3) 推進委員会

- ・原則として2か月に1回開催する
- ・全体的な方針決定・調整の場とし、具体的な活動は部会中心に進める。

(4) 部会

- ・原則として2か月に1回開催する
- ・必要に応じて協力会員を加える
- ・広報部会は部部长、副部长の2人体制とし、内容に関しては役員会で討議する